

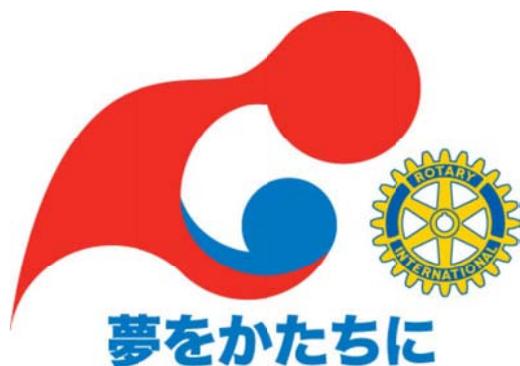


士別ロータリークラブ会報

創立1960.3.24 RI第2500地区

vol. 31 No. 2256

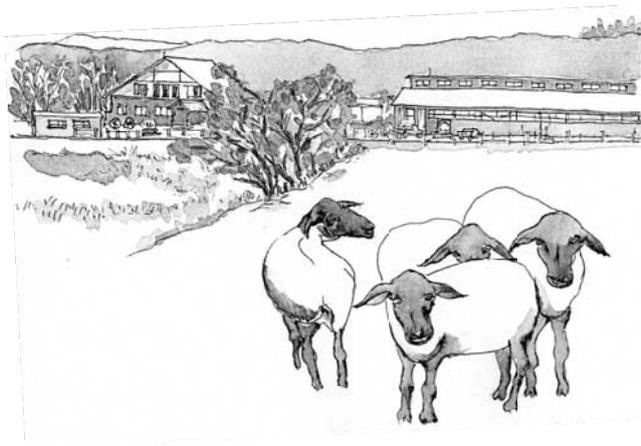
2008-2009年度国際ロータリーのテーマ



**夢をかたちに
Make Dreams Real**

2008—2009年度RI会長
季 東建

例会場／士別グランドホテル
例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
事務所／士別グランドホテル TEL (0165) 23-1234
会長／織戸 俊二
副会長／神田 英一
幹事／尾崎 学



しずお農場

百瀬達夫画

第2337回例会 2009年4月6日(月)

今日のプログラム .. 普通例会 ・ 会員卓話 ・ 誕生祝い ・ 理事会

前回(3月30日)の記録 ・ 夜間例会

司 会 山口哲雄会場監督
齊 唱 それでこそロータリー
本日の出席 出席率100% 会員58人中 出席者58人
本日の欠席

メイクアップ
ビクター
ゲスト
ニコニコBOX 阿達勇(誕生祝い)

累計306,000円

例会予定

■ 4月例会日「ロータリー雑誌月間」

- 4月6日(月) 普通例会(卓話)・理事会
- 4月13日(月) 普通例会
- 4月20日(月) 普通例会
- 4月27日(月) 夜間例会

※19日(日) INTER CITY MEETING(中頓別)
※25日～26日 PETS・地区協議会(旭川)

■ 5月例会日

- 5月4日(月) 特別休会(法定休日・みどりの日)
- 5月11日(月) 普通例会・理事会
- 5月18日(月) 普通例会
- 5月25日(月) 夜間例会

※17日(日) 名寄RC創立50周年記念式典
※24日(日) 枝幸RC創立30周年記念式典

■会務報告 ————— 神田英一副会長

○夜はまだ風が冷たいですが、急速に雪融けが進み、もう桜の開花がたえられ、4月の新年度とともに春も近いと感じます。

○昨日織戸会長の様子を伺いにいってきました。もうしばらくかかるのではないかと思います。しっかり治療していただき、1日でも早く元気に戻ってきていただきたいと思います。

○定額給付金の申請が始まりました、何に使おうかと楽しみにしております。もちろん士別で使いたいと思っております。

■幹事報告 ————— 尾崎 学幹事

1. 4月19日に中頓別で開催されます第2分区IMに24名の登録を頂きました。交通手段はマイクロバスを利用し参加したいと考えております。参加されます会員には、次回4月6日の例会に行動予定表をお渡し致します。

2. 名寄ロータリークラブより創立50周年記念式典の案内が届いております。日時は5月17日(日)で、参加登録〆切は4月15日までとなっております。多数の参加を希望致します。合わせて開催されます記念ゴルフ大会の案内も一緒に届いております。参加希望者は、ゴルフ同好会へお申込み下さい。

また枝幸ロータリークラブより創立30周年記念式典の案内が届いております。日時は5月24日(日)です。登録〆切は4月24日までとなっております。登録料はそれぞれ10000円になっています。

3. 4月のロータリーレートは1ドル=98円との連絡がありましたのでお知らせ致します。

委員会報告

■社会奉仕委員会 ————— 野崎英男委員長

社会奉仕委員会事業として次の2件を決定しましたので、報告します。

・士別市交通安全運動推進委員会「交通遺児就学奨励金事業」に20万円寄付。

・士別市立図書館「ロータリー文庫」に絵本・図書(5万円)寄贈。

次年度報告

志村孝幸次年度幹事

先日、次年度のクラブ協議会を開催しました。その後、新旧クラブ協議会、15、16日のPETを経て、クラブの基本方針、事業の計画を進めさせていただきます。

その他の報告

・大野裕一郎会員から、大塚勝人会員の入院についての経過報告。現在、旭川医大にて治療中とのことです。

■私のロータリー観 ② 百瀬達夫パスト会長

今年のロータリーの友2月号の巻末に「会員増強で、充実した活動」名古屋東南ロータリークラブ、会員70名、例会に握手タイムを設け親睦のプログラムを増やし、会員増強の目標を100人として、奉仕活動の成果を着々と挙げています。しかしなかにワケが判らない会員の声も載せられているのです。

ロータリークラブとは一体何なのでしょう。私にもこのテーマは大変難しいのです。一口でロータリーは何なのか説明が出来ないのです。

ロータリーの友の4ページを開くと『ロータリーとは』の解説があります。20世紀の初めシカゴの町の商業道德の低下が目立ちポール・ハリス達は「お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するというような仲間を増やしたい」という趣旨でロータリークラブという会合が考えられました。

ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

しかしポール・ハリスが作り上げた「奉仕哲学」は理解されず、度々「奉仕の実践に関する決議第34号」は二度も廃止決議が行われたが、やっと存置されました。

初期ロータリーの思想はフレデリック・シェルドンが説いて居るのですが、今日国際ロータリーの役員の中では明確に説明できない(小堀憲助)状態の様です。

『ロータリーの綱領』は、手続き要覧の国際ロータリーの黄色の頁にあります。綱領=objectです。奉仕の理想=Ideal of service、日本のサービスは奉仕と訳されますが、本来は奉公、勤務、軍務、給仕の意味であり、もう少し広い意味です。「自分の職業は社会に有用であるので道德的水準を高めて奉仕しなければならない」と、この様な理想と職業を持った人の集まりがロータリークラブなのです。

したがって知り合いを広め理想を高め合うことはとても有益です。業務を通じて社会生活に更に国際間の理解と親善と平和を推進することが勧められています。

『私の職業であればヒポクラテスの誓い』に「私の判断力の限りをつくし全力で病人の助けに当たります」は自分の利益より先に考えることなのです。親睦と奉仕、殊にRIのプロジェクトに比重が高くなると地方ロータリークラブの会員には分かり難くなります。

英語を主に使い、キリスト教国の思想が根本にあるのですから日本人には理解しにくいのが当然と考えます。この事はそのまま割り切ってしまうほうがよいと思います。(終わり)